傳家問答原氏

十一

特別
へ13
4274
21

91-2352

種彦作
國貞画
九一編上冊

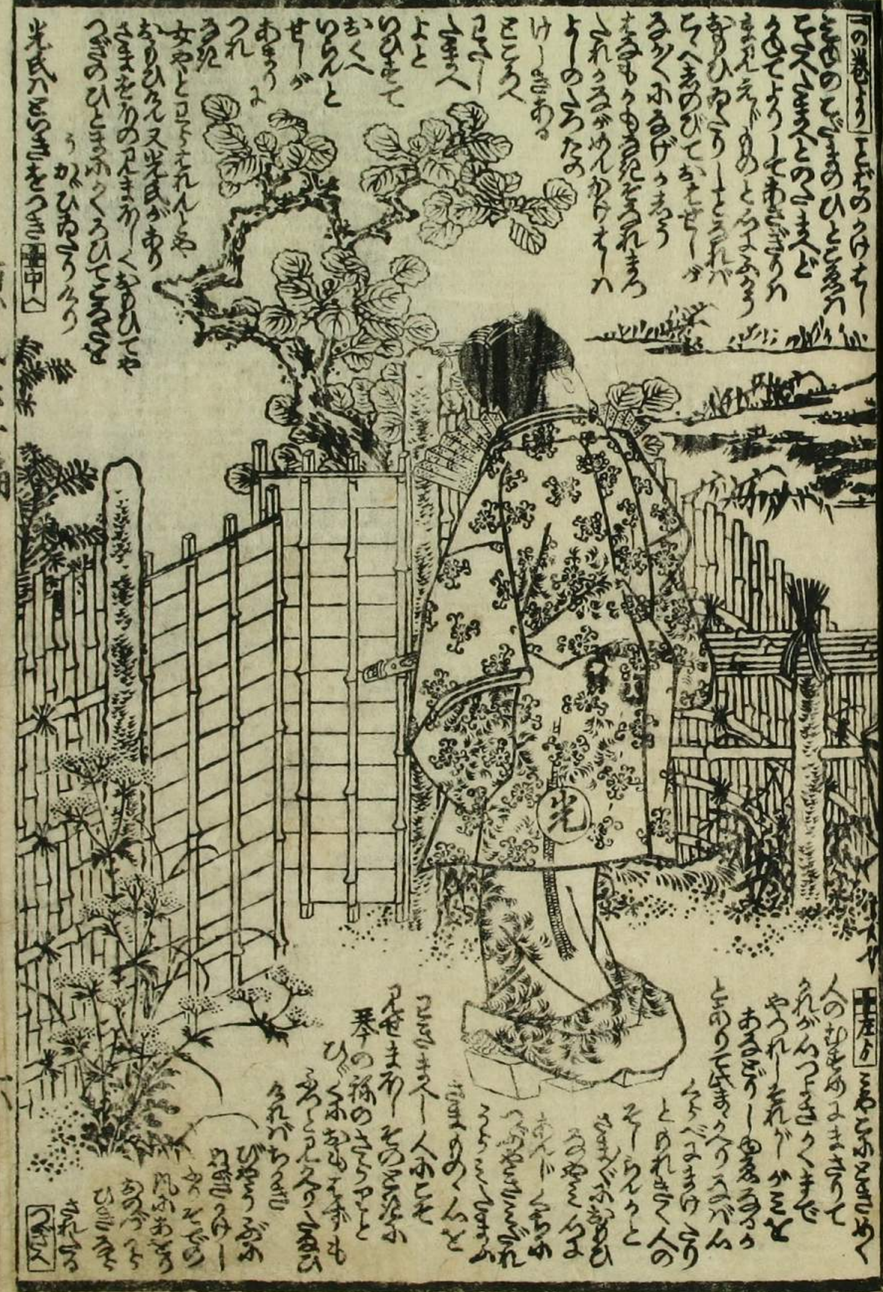
油町
雀屋板

願ひのごとく明石まぐ立消のせぞ續きも板元が油町でござりまする。利屈蔦の葉番やきくらを出れば次ぶ店と合せ女清玄。芽祭りの錦繪とも〜並べ。見ぶ。尼の釣舟ぐござりまする。海士の轉りとヲシまするもおちゃッぴいの事でござりませう。

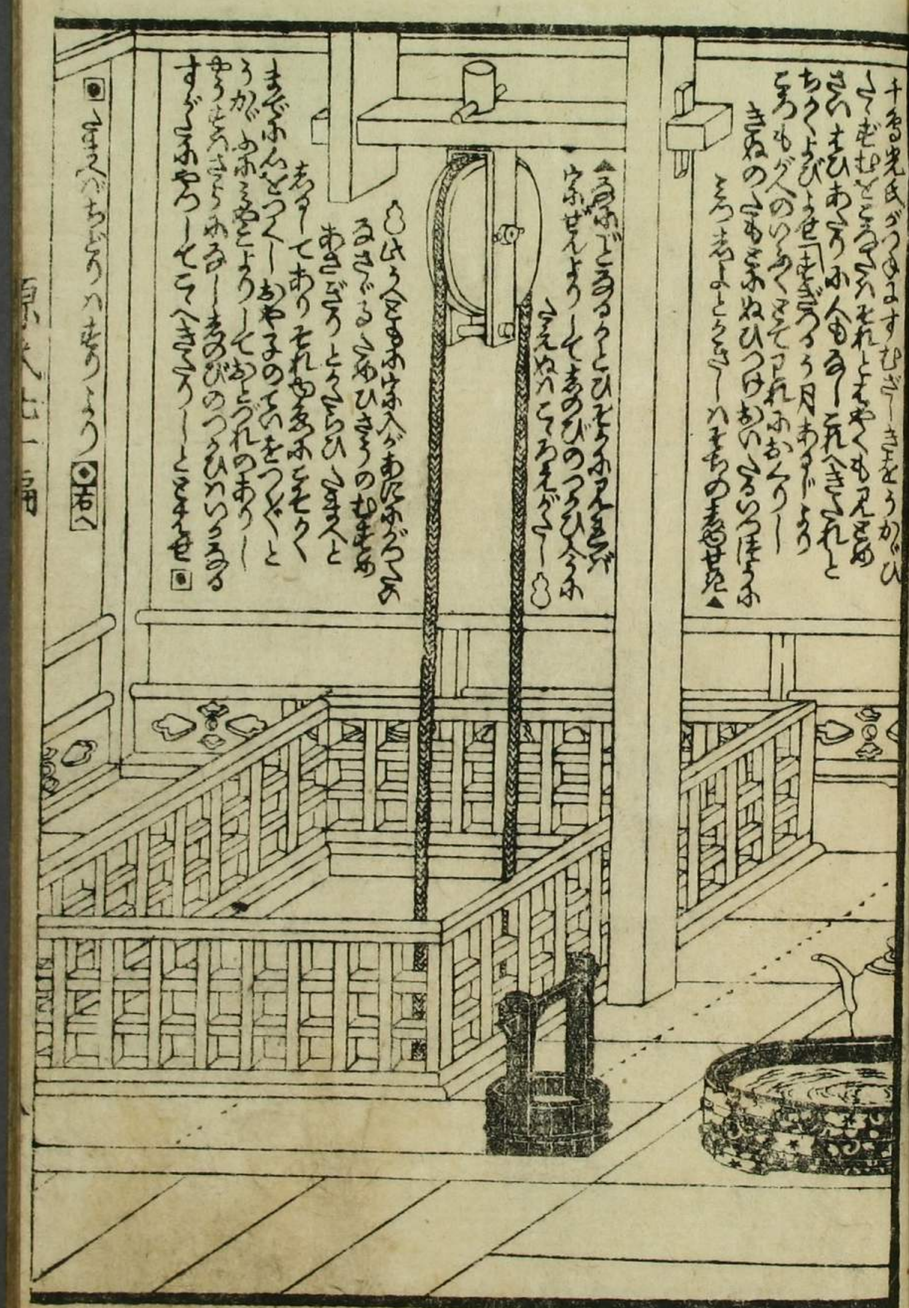
ト清玄尼乃絵をとりて見せ。源氏ハ假字冊ゑでござりまする。くらひら假名とお見ふりみます。ト盛衰記先陣問答の繪を出し。獨案覚の庫をくるり。見ぶ千ちぐぐござります。梅ぐえふりまするすぐとまぐぐざりまするが。トいひるぐら出し〜ゑ繪を順ようくあらべ。繪合あいりう程ハござりませねとゆくるを九一編の序文よかへくあくゆも又腰元千ちるが初ようかぐきがりよ說出せり

天保丙申正月良辰

柳亭種彦述



東京七二編



國貞画 種彦作

天保七年丙申春新彫

彦紫田舎源氏 柳亭種彦作 歌川國貞画
多年十八編より九二編まで開板おかたらすすめ光明と経奉布ゝ 笠亭仙果作

一筋道雪眺望 全四冊 歌川國芳画

種彦校合 井筒屋の義子 八百屋乃娘 紫房紋多箱 全六冊 歌川貞秀画

仙客亭柏琳作 鐵久の十徳 薩伊の紙子 世話蒙求 全四冊 歌川貞秀画

笠亭仙果作 糸柳花縁結 全四冊 歌川貞秀画

和らめたび袋入 昔新さらやんく 三冊 むり話大さらぶり 二冊
わ淫ざうし 種彦改書貞秀画 むり話浦島ぢい 三冊 茶番のいろは 二冊

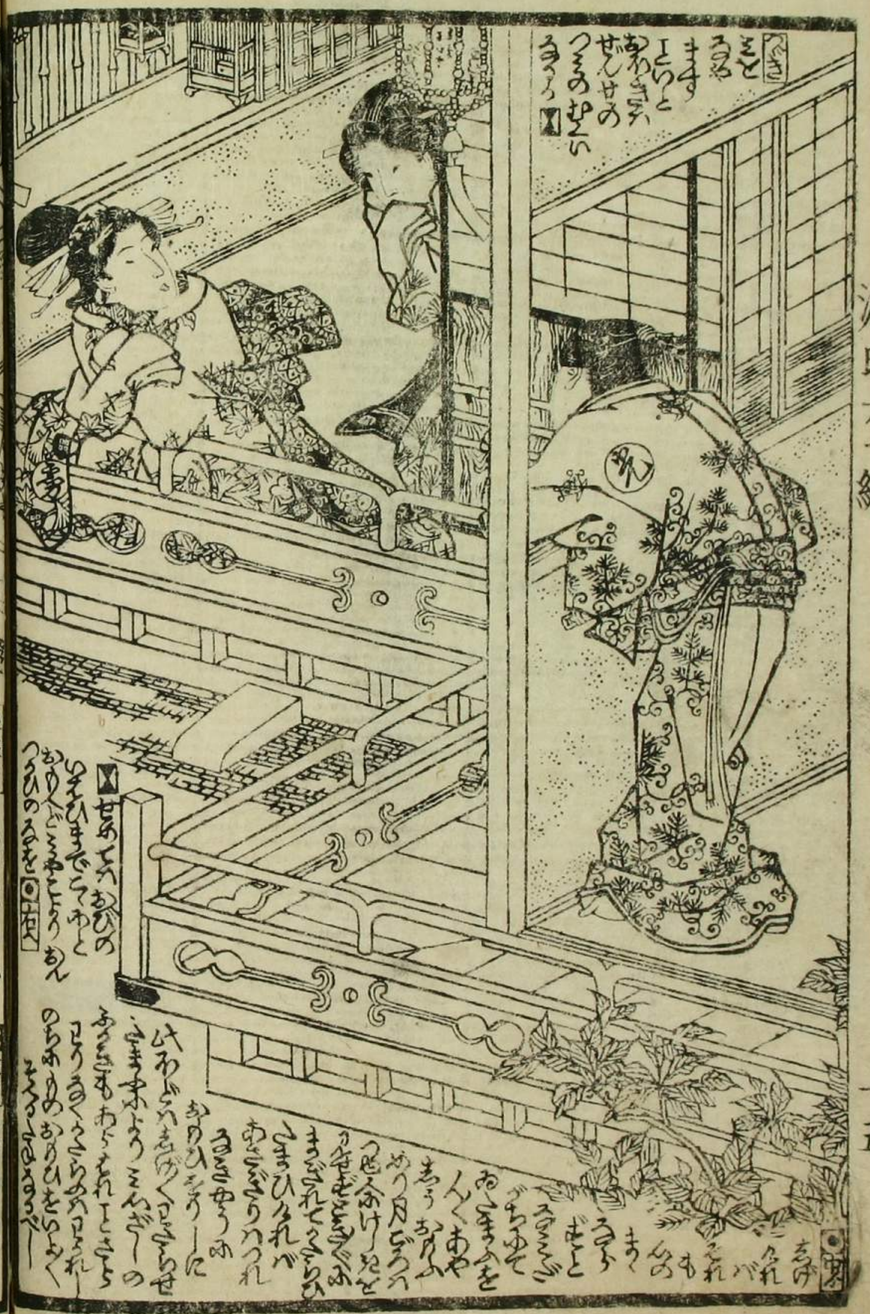
書物地本錦繪問屋 通油町 仙鶴堂鶴屋喜右衛門

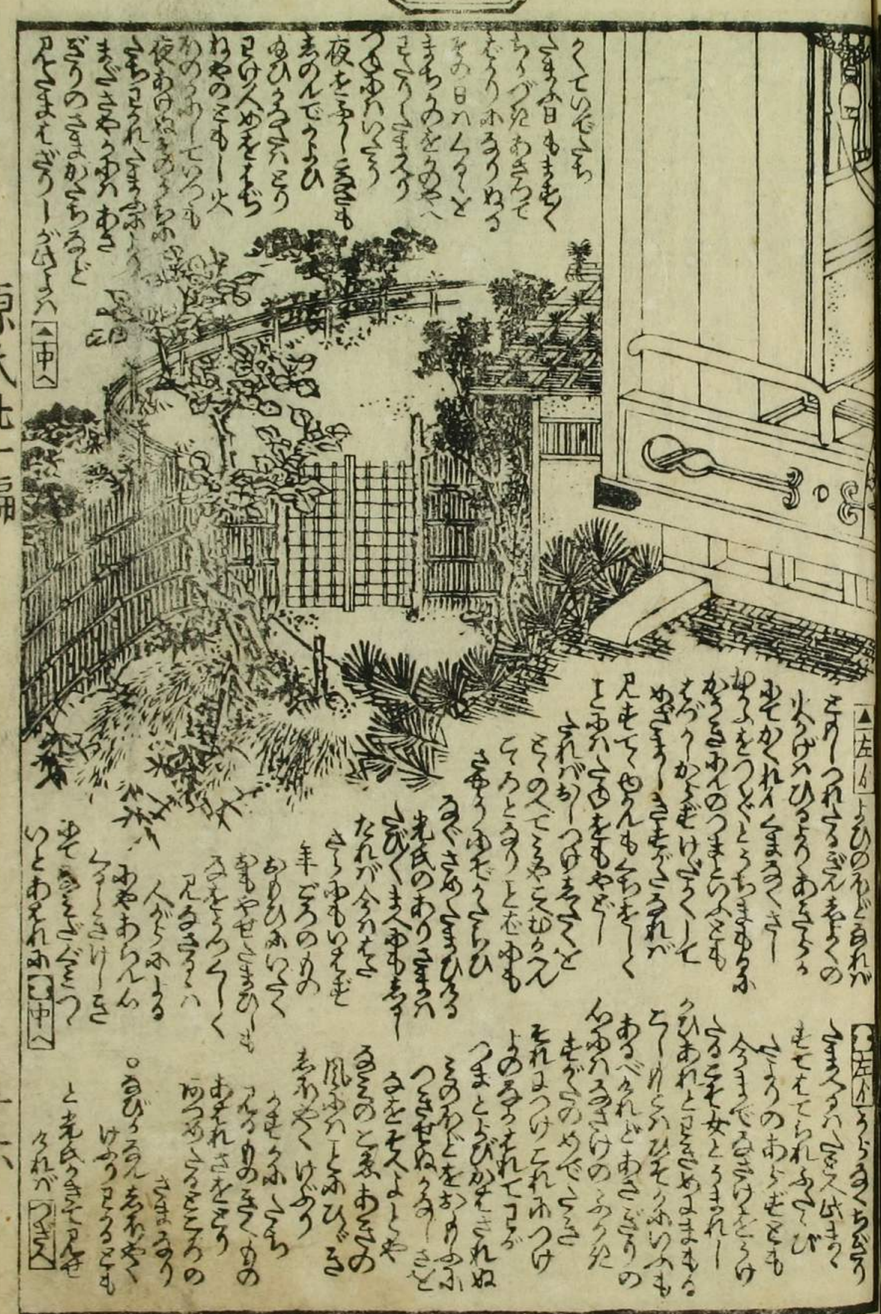
九一編下

偐紫田舎源氏

廿一編 下冊

尚





種彦作 國貞画

天保七年申春新彫

琴声女房形氣 全四冊 山東京山作 歌川國貞画

烏助左衛門忠義傳 全四冊 関亭傳笑作 歌川國芳画

森羅萬象八意氣 全四冊 五柳亭徳升作 歌川國芳画

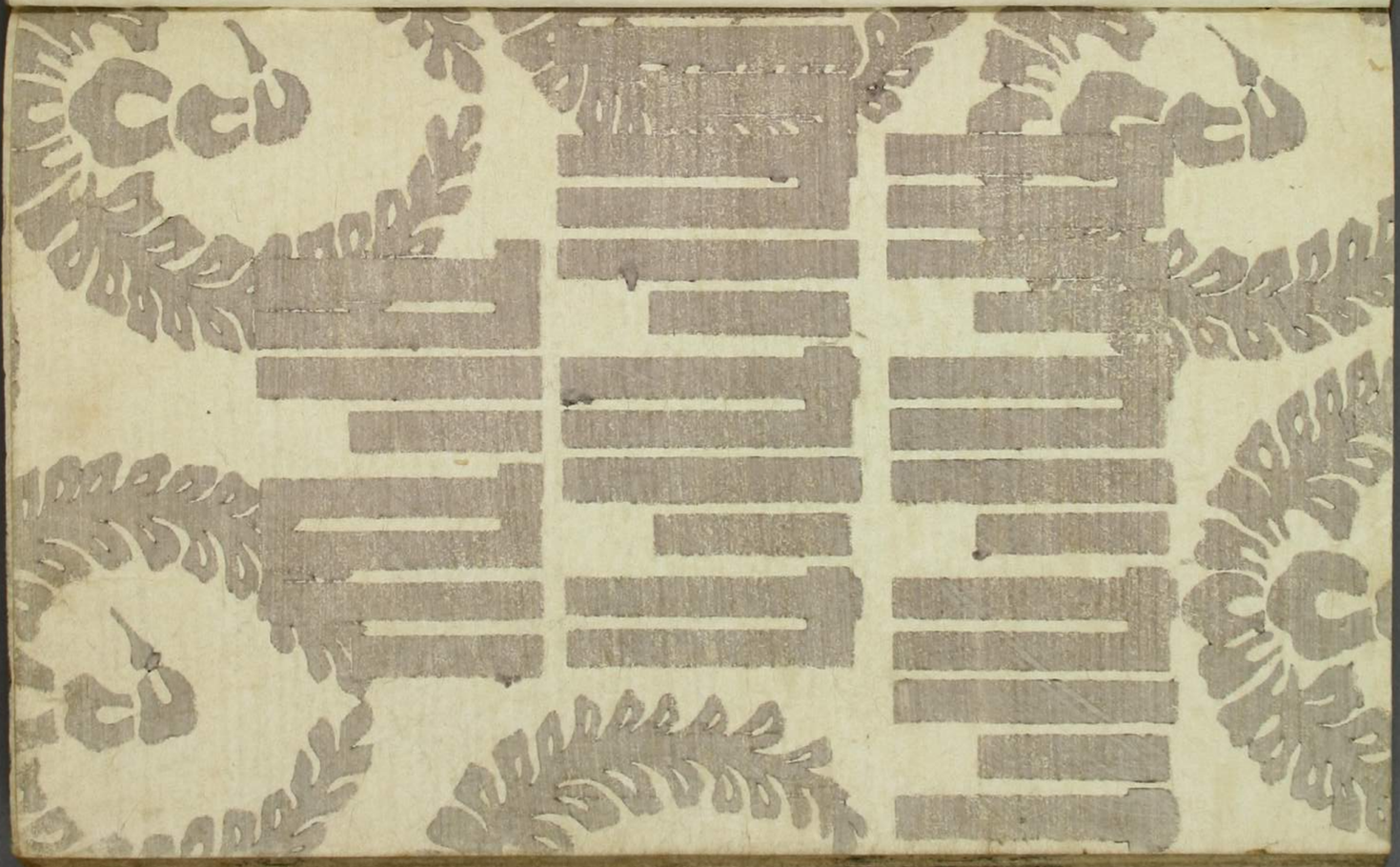
稲葉山操の松枝 全四冊 宝田千町作 歌川國芳画

浮波さうし 八冊 柳亭種彦作 歌川貞秀画

國字水滸傳 十四編 四冊 笠亭仙果譯 歌川國芳画

南伝馬町三丁目西側 坂本氏製衣

美艶仙女香 四八銭

黒油 美玄香 四八銭

書物錦繪 團扇地紙 問屋 鶴屋喜右衛門 江戸通油町